



学校だより

新潟市立中之口東小学校 2026. 9. 28
第400号 子ども数104名
ホームページ
<https://www.kiranico.jp/>



面倒だからおもしろい

校長 小森 康貴

先日、普段は絶対に行かない高いお店で特売の鮭を買いました。翌朝、焼いて食卓に出しました。焼き鮭が大好きな一番下の子が真っ先に食べ始めました。一口食べて「おいしい！」と喜びました。その光景を見て、高い鮭を買ってよかったと思っていたら、その子が「もういらない」と言い、食べるのをやめてしまいました。実は、特売になっているのには理由があります。とても骨の多い部位のため、たくさんある骨の隙間から身を出したり小さな骨を外したりしないと食べられないのです。一番下の子は、面倒になって食べるのをやめてしまったのです。面倒を乗り越えれば美味しい鮭を食べられるのに、もったいないなあと思いました。

現代は、技術が進歩して面倒なことが簡単にできてしまうようになりました。その最たる例は家電です。洗濯機や掃除機、電子レンジなどが普及して面倒な家事が簡単にできるようになりました。最近であれば、スマートフォンで、いつでも電話をしたりメールをしたり調べものをしたりすることができます。買い物もできます。本当に便利な世の中になりました。しかし、便利にはなりましたが、おもしろくなったわけではありません。私は、便利とおもしろさは対極にあるような気がします。面倒の先にこそ本当のおもしろさがあるのではないかなと思うのです。

その最たる例が登山です。わざわざ重い荷物を背負って何時間もかけてきつい坂道を登るのは、その面倒の先におもしろさがあるからです。私は、学生の頃に標高の高い山に登ったことがあります。きつい坂道を延々と歩き続け、藪をかき分けて山小屋にたどり着いたとき、一面の花畑を見て「ここは天国だ！」と思いました。もし、ヘリコプターやロープウェイなどで山小屋に行ったとしても同様の感動は得られないと思います。釣りも同じです。魚屋で買えばすぐに手に入れられるのに、わざわざ仕掛けやえさなどを用意して釣りに行きます。しかも、一匹も釣れないこともあります。それでも釣りに行くのは、面倒の先におもしろさがあるからです。子どもが大好きなゲームも、簡単にクリアできたらおもしろくありません。面倒だからおもしろいのです。

授業も面倒だからおもしろいのです。すでにできていることを繰り返し学習するのは、簡単だけどおもしろくありません。実際、繰り返しドリルなどの反復練習を嫌う子どもがたくさんいます。授業は、今まで学習したことを生かして、少し難しいことができるようになるからおもしろいのです。

実は、よい授業ほど子どもにとって面倒です。簡単に答えを教えないからです。よい授業は、子どもが自ら考えたり友達と話し合ったりすることを通して、できなかったことをできるようにします。考えたり話し合ったりする面倒の先にある「できた！」がおもしろいのです。しかし、実際は、「できた！」にたどり着くことができない子どももいます。それでは面倒なだけです。面倒なだけではおもしろくないので勉強が嫌いになります。そういう思いをさせないためにも、授業は、分かったりできたりするようにしないとダメです。

もうすぐ前期が終了します。中之口東小学校は、後期も、子どもの「分かった！」「できた！」を増やせるように頑張ります。